



3 July 2023

リリースノート

# AtomOS 10.93.00

## SHOGUN CONNECT

---

### インストール時の手順：

---

SHOGUN CONNECT を主電源に接続し、ファームウェアのアップデートを行うことを推奨しています。

1. フォーマットされた対応 SSD をドッキングステーションに挿し込んでください。
2. ダウンロードしたファイルを解凍し、ATOMSGC.FW を SSD のルートにコピーしてください。
3. SSD をドッキングステーションから抜いてください。(OS のガイドラインに従います)
4. SHOGUN CONNECT に SSD を挿し込んでください。
5. SHOGUN CONNECT の電源を入れると、自動的にファームウェアのアップデートが開始されます。
6. SHOGUN CONNECT の電源が既にオンになっている場合は、新しいファームウェアを含む SSD を挿入すると、ファームウェアの更新を実行するよう促されます。
7. アップデートが完了すると、SHOGUN CONNECT の電源がオフになります。
8. SHOGUN CONNECT の電源を入れます。
9. ファームウェアのバージョンを確認します。(menu>info tab)

注意：SHOGUN CONNECT にファームウェア 10.93.00 が正常にインストールされると、ハードウェアモジュールのファームウェアを更新するために本体が再起動することがあります。ファームウェアのインストール中は電源を切らないでください。

## 新機能：

---

### LiveShow 向けインターカムデバイス設定の追加

ATOMOS Cloud Studio で LiveShow を設定する際、Shogun Connect をインカムデバイスとして設定できるようになりました。これまでは ATOMOS Surface App からのみ可能でしたが、10.93.00 より Connect 対応製品もインカムデバイスとなります。

#### 必要なもの

- ・電源付きマイク
- ・ヘッドフォン/イヤホン

※ATOMOS 製品はプラグインパワー非対応のため、3.5mm マイクジャックから入力される音声を検出するには、電源付きマイクが必要です。

※本機能の使用方法についてはこちらのリンクをご参照ください。

<https://support.atomos.com/hc/en-us/articles/7300356723343>

## 不具合修正と改善点：

---

- ・ YouTube 配信の音声の歪みを防ぐため、RTMP サンプルアライメントをより強固にし、A/V Sync を改善。
- ・ Wi-Fi パスワードの長さを 63 文字に増加。
- ・ 10.93.00 より、FujiFilm のカメラで記録された ProResRAW クリップの露出が、カメラの内部記録とより一致するようになりました。

## 今後のリリースで修正予定の既知の制限事項：

---

- 録画 / 再生モードを切り替える際、Wi-Fi とイーサネットの再接続に最大 10 秒かかることがあります。  
システムが自動的にネットワークに再接続するのに時間が掛かりますので少々お待ちください。
- Atomos Live Production はまだ BETA 版ですが、技術的な問題により、  
すべてのビデオソースの入力レイテンシが現在約 750mS と高く設定されています。  
この値は、将来の Atomos ファームウェアのアップデートで大幅に削減される予定です。
- 720p50 と 720p59.94 で記録された H.265 クリップを再生すると、  
ズームと波形のモニタリング機能が無効になります。
- X-H2 から ProResRAW を収録する際に、フレーム右端に 36px の太い黒が入ることがあります。
- 8Kp30 と 6Kp60 の RAW 入力時、WFM モニターツールは使用できません。
- Wi-Fi の有効化が断続的に行われることがあります。  
ダイアログメッセージが表示され、システムの再起動が必要な場合があります。
- AirGlu BT による SHOGUN CONNECT と Nikon Z 9 カメラ、ZOOM オーディオレコーダー、  
TASCAM オーディオレコーダーのペアリングは、現時点ではサポートされていません。  
現在パートナーと協力して、実装できるよう開発中です。  
iOS アプリ「UltraSync Blue Slate」「Mavis Pro Camera」「MetaRecorder」とのペアリングは可能です。
- 記録フォーマットに H.265 を選択した場合、ネットワーク記録制御は使用できません。
- ストリーミングは、標準的な YCC422 ビデオ入力を使用し、記録コーデックが ProRes または、  
DNx に設定されている場合のみ利用可能です。ProResRAW または H.265 を選択されている場合、  
ライブストリーミングはできません。
- YCC SDI 入力で ProResRAW 録画モードで起動した場合、モニタリング映像が正しく表示されない  
ことがあります。ProResRAW モードで SHOGUN CONNECT に RAW 信号を出力しながらの  
モニタリングと録画時は、正しく動作します。
- HDMI Compatibility モードを選択した状態で、異なるカメラモデルを接続する場合は、  
新しいカメラを接続する前に必ず SHOGUN CONNECT を再起動してください。
- 再生モードで、最初に表示する ProRes RAW ファイルを選択すると、いくつかのアーティファクトが  
表示されることがあります。これらは記録されたファイルには存在せず、  
最初に選択したクリップの後に再生されるクリップには表示されません。
- 1つのデバイスに2つ以上の AtomRemote アプリを使用すると、パフォーマンスが遅くなります。  
1つのデバイスにつき、1つの AtomRemote アプリのみをペアリングしてください。